

第76回国民体育大会冬季大会 大会展望

1 競技団体名		宮城県スケート連盟	宮城県アイスホッケー連盟 (少年男子)	宮城県アイスホッケー連盟 (成年男子)
2 当該大会における具体的な目標		フィギュア団体入賞 スピードショートトラック競技個人入賞	第3位	国民体育大会ベスト8
3 有望チーム・選手・種目等	1.	フィギュア少年女子 8位圏内に入れる可能性がある。 予選会は1位で通過したので、現状9位の状況	東北高校アイスホッケー部単独チーム	FW 今村 雄太朗 (社会人：元日本製紙クレインズ)
	2.	ショートトラック競技は少年男子小山晃生（東北）が、昨年スピード競技で8位入賞。今年度はショートトラックで入賞を目指す。	藏持遼介 (キャプテン DF)	DF 小川 翔太 (大学生：中央大学4年)
	3.	ショートトラック少年女子金井愛未（東北）今年度日本で500mランキング16位となっている。大学生社会人を除けば十分入賞圏内である。	ミキシェーン豪 (FW)	FW 相澤 拓耶 (大学生：日本大学4年)
4 3における実績	1.	すべて上記に記入	かつて、単独で準優勝経験2回。その時のチームに劣らない今年のチームである。	元、アジアリーグプレイヤー 昨年度、国体宮城県チーム副将
	2.		1年次より本戦に出場し活躍している。	インカレ強豪校在学、主力メンバー
	3.		1年次より本戦に出場し活躍している。	インカレ強豪校在学、主力メンバー
5 その他アピールポイント		とくになし	国体予選の東北総体までの全ての大会が中止となっており、この国体にかける思いは選手・スタッフ共に例年以上に熱いものがある。	今年は、大学四年生がインカレ無しの為、大学生活の有終の美を飾るべく、最高のパフォーマンス発揮してくれると思います。